

賛美

549 番 わが祈り

わがいのり 主よ聞きて
主の平和を 与えませ アーメン

338 番 よるべなきわれは

1、よるべなきわれは 主に近づかん
主あわれみ無くば いずこに行かん

※おりかえし
わが罪のために ちしお流し
いま悔いあらため みまえに行かん

2、とわにますわが主 罪に死にし
われを血潮もて 救いたもう

3、主イエスにたよりて 力をうけ
求めるものみな 与えたもう

聖書 第1コリント15章 50-58節

50 兄弟たちよ。私はこのことを言っておきます。血肉のからだは神の国を相続できません。朽ちるものは、朽ちないものを相続できません。

51 聞きなさい。私はあなたがたに奥義を告げましょう。私たちはみな眠ってしまうのではなく、みな変えられるのです。

52 終わりのラッパとともに、たちまち、一瞬のうちにです。ラッパが鳴ると、死者は朽ちないものによみがえり、私たちは変えられるのです。

53 朽ちるものは、必ず朽ちないものを着なければならず、死ぬものは、必ず不死を着なければならぬからです。

54 しかし、朽ちるものが朽ちないものを着、死ぬものが不死を着るとき、「死は勝利にのまれた。」とするされている、みことばが実現します。

55 「死よ。おまえの勝利はどこにあるのか。死よ。おまえのとげはどこにあるのか。」

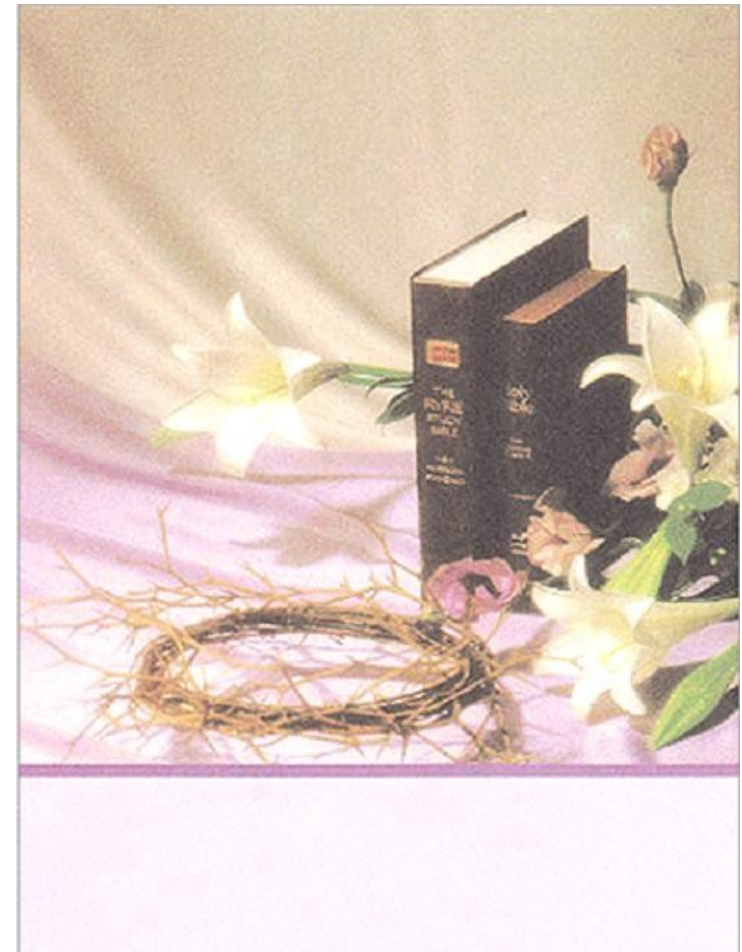
56 死のとげは罪であり、罪の力は律法です。

57 しかし、神に感謝すべきです。神は、私たちの主イエス・キリストによって、私たちに勝利を与えてくださいました。

58 ですから、私の愛する兄弟たちよ。堅く立って、動かされることなく、いつも主のわざに励みなさい。あなたがたは自分たちの労苦が、主にあつてむだでないことを知っているのですから。

天声教会

故 金海烈 兄弟 前夜祭



パスター： 林和也

〒231-0058 神奈川県横浜市中区弥生町 2-17 ストックタワー大通り公園 I -201
TEL/FAX 045-326-6211

前夜祭 式次第

黙祷	会衆一同
開式宣言	
祈祷	司式者
賛美	549 番 わが祈り
祈祷	司式者
聖書	第1コリント15章 50-58 節
メッセージ	司式者
祈祷	
賛美	338 番 よるべなきわれは
祝福の祈り	司式者
報告	

告別式のご案内

日時： 2010年4月13日 12時

会場： セレモニーホール牛久齊場
茨城県牛久市中央5-3-1

JR 常磐線牛久駅下車。改札を右に行き、右側の階段を降り、線路沿いに直進。
突当りを右折、踏み切りを渡り、すぐ左折。300m程行った右側。
牛久駅から徒歩6～7分。

12時から14時まで告別式を行い、その後移動して15時に火葬となります。

ヨハネ11:25

わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。

金海烈兄弟のご遺体は現在茨城にあり、明日火葬される予定ですが、私達の信じる所では、彼は今、茨城ではなく、天において、いのちの主であるイエスキリストの元で安らぎを得ているものである。

また、イエスを信じた者は必ず朽ちないものを着、死は勝利に飲まれることが、第1コリント15章にて約束されている通りである。

そのように、イエスにある者には、死は復活の望み、新しい命の目覚めという希望がある。

しかし私達残された者には、親しい人の死は、「なぜ」という問いと、神は無力である、という思いさえ生み出す。聖書・ヨハネ11章を見たい。

イエスはラザロを愛していたのに、彼が病気だと聞いてすぐに行く事はせず、なお2日滞在され、彼らがベタニヤに到着した頃、ラザロは葬られ既に4日経っていた。

マリヤは足元に崩れて泣き、「主よ、もしここにいてくださいましたら、わたしの兄弟は死ななかつたでしょうに」と言った。

イエスも泣き、心に憤りを覚えられた。

イエスがもっと早く行って癒してあげていれば、、、彼らはこんな悲しい思いをする事無く、イエスが愛しておられたラザロも死の苦しみをする事無く、イエスご自身も、泣いたり憤ったりする事無く、済んだだろうに。

周りにいた人も「盲人の目を開けたこの人も、ラザロが死なないようにはできなかったのか」と言った。

人は考える。主は非力である。彼の苦しみを早く除いてくれない主は、間違っている。

私にこんな悲しい思いをさせる主は、間違っている。等など。

結果的にはラザロは蘇らされるのだが、なんでこんな回りくどい方法を取られたのか。

もし、すぐ行ってインスタントに、癒していたなら、主がよみがえりであり、いのちであり、彼を信じる者は、死んでも生きる事を、体験として知り得なかつただろう。

そこでイエスは、はっきりと言われた。「ラザロは死んだのだ。わたしがその場に居合わせなかつたのは、あなたがたにとってよかつた。あなたがたが信じるようになるためである。」

(ヨハネ11:14)

私たちがイエスを信じるようになる事が死ぬほど大事だから、イエスはあえて愛する者の苦しみを許され、あえて、回りくどいような方法をとられる。

それは、私達の最善を知るのには、この天地を創り、私達を創られた神であるから。

イエスは、苦しみの中にいる私たちと共に涙を流してくださるだけでなく、ご自身が私達の身代わりとなって罪と死を一身に負われ、最終的に私たちを罪と死から解放して下さるのだ。